

讃美歌 94
信仰告白 ウェストミンスター大教理 問46、48、49、51
聖書 フィリピの信徒への手紙2章1～11節（聖書公会共同訳 新p355）
祈禱
奨励 「使徒信条3 人となられたキリスト」
祈禱
讃美歌 147
懇談
祈禱会
主の祈り

使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人のうちよりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこより来たりて生ける者と死ねる者とをさばきたまわん。

我は聖霊を信ず。

聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。
アーメン。

ウェストミンスター大教理問答

問46 キリストの謙卑^{けんぴ}の状態とは、どのようなものでしたか。

答 キリストの謙卑の状態とは、キリストが、わたしたちのために、その栄光を御自身から取り去って、その受胎・誕生・生涯・死において、さらに死後は復活まで、御自分に僕の形をとられた、そのような低いありさまでした。

問48 キリストは、その生涯において、どのようにして御自身を低くされましたか。

答 キリストは、〔第一に〕御自身を律法に服従させ、律法を完全に成就することにより、また〔第二に〕世からの侮辱^{ぶじょく}・サタンの誘惑・および、かれの肉のうちのさまざまな弱さ——人間の本性に共通のものであれ、あるいは、そのかれの低い状態に特に伴うものであれ——と戦うことによって、その生涯において御自身を低くされました。

問49 キリストは、その死において、どのようにして御自身を低くされましたか。

答 キリストは、ユダに裏切られ、自分の弟子たちに捨てられ、世から嘲笑^{ちょうしょう}され、拒絶され、ピラトに断罪され、かれの迫害者たちに苦しめられたのち、また、死の恐怖と闇の勢力と戦い、神の怒りの重圧を覚え担ったのち、苦しく、恥ずべき、呪われた十字架の死を耐え忍んで、罪のための献げ物として自らの命をお捨てになることによって、その死において御自身を低くされました。

問51 キリストの高挙^{こうきよ}の^{じょうたい}状態とは、どのようなものでしたか。

答 キリストの高挙の状態は、かれの復活・昇天・父の右の座に着いておられること・そして世を裁くためのかれの再臨を含んでいます。